



大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい児童生徒の育成」

文責 浅利 進

災害級とまで言われた暑い日もありましたが、やっと梅雨明けになりそうです。学校では今週で1学期が終わり、34日間の夏休みに入ります。あっという間の70日余りでしたが、生徒の皆さんはそれぞれの学年の行事や活動を通して、昨年と違う自分が発見できたでしょうか。昨年に比べてコロナへの対応が緩和され、少し頑張れることが増えてきたと思います。もちろんうまくいかないことや、できなかったこともあったと思います。それでも多くの経験をする中で、成長できたな、と感じる場面もあったはずです。自分の力を伸ばすためには自分の力を認めることも大切です。よかったことは素直に認め、できなかったことはどこに気を付ければよかったのかを考え、常に前向きに自分を信じていきましょう。

夏はもうすぐです。

夏を制する者は・・・。

3年生はいよいよ来年度の自分の進路に向けて、じっくりと考えられる期間になります。私も3年生の担任のころはよく「夏を制する者は受験を制す！」と励ましなのか、プレッシャーなのか迷いそうな言葉を生徒に掛けて



いました。今にして思うと、学校での授業の無い暑い毎日を、自分なりに計画を立て、自分の力をじっくり伸ばす習慣をつけることで、2学期以降に学習に向かう姿勢を身に付けておくことが大切だと、丁寧に説明しておけばよかったなと感じています。このことは、3年生ばかりでなく、

1, 2年生にも言えることですね。1学期の反省から2学期に付けたい力を伸ばすためにも、どのような行動を習慣づけていくかが必要です。

今年の夏も暑くなりそうです。学校では、友達や先生と時間割通り1日を過ごすことはできそうですが、休みの日に自分で勉強以外の計画を立てるのは難しいですね。でも、普段できないことの計画を立て、実行することで、「充実した」1日を過ごせると思いませんか。自分にとって満足できる日々を過ごすことほど、自分を成長させることにつながります。そんな夏休みの過ごし方こそ、「夏を制した」（計画通りの充実した夏休み）ことになると思います。

アウトメディアに挑戦してみませんか。

最近のITの発達にはついていけないほど様々な進化が見られます。対応したSNSについても多くの種類があり、皆さんも携帯機器を持っていなくても聞いたことがあると思います。当然、社会生活を効率よく快適に過ごすために開発されているので、使えるならルールを守って使ってほしいです。でも、あまりにのめりこみすぎて目の前の現実を忘れてしまうようでは、本来の目的から外れてしまうような気がします。時間に余裕のある夏休みに、ついついゲームやSNSを見て時間が過ぎてしまうと感じている人は、アウトメディアにチャレンジしてください。小学校で取り組んだこともあると思いますが、こんな取組です。

★アウトメディアって？

アウトメディアとは、メディア機器（テレビ、プレステやスイッチ等のゲーム、パソコン、インターネット、スマートフォン、携帯電話など）を使わない時間をもつということです。この取組は、電子メディアを完全に排除するものではありません。電子メディアに上手に触れることで、過度な接触時間を減らし、自分自身の時間・家族での団らん・人と人とのつながりの時間を大切にしようというものです。

★例えばどんなこと？

- ・テレビの見る番組を決める。（テレビを見る時間を決める・見ない日をつくる）
- ・ゲームをする時間を決める。（ゲームをしない日を決める）
- ・スマホ、携帯機器を見る時間を決める。（SNSを見る時間を決める）
- ・必要に応じて、メディア機器を使わない日を決める。

簡単そうで、難しいと思います。家庭の事情もあると思いますが、挑戦してみてもどうですか。

第一回小中一貫教育推進協議会が開催されました。

南アルプス市では、中学校学区の小中学校を単位に、9年間を見通し、継続した教育を進めるための「小中一貫教育」の取組が行われています。この取組により、「小中ギャップへの対応」「教員の意識改革と指導力の向上」「学力・体力の向上」「いじめ・不登校の解消」を目指しています。若草南小・若草小・若草中の3校は、昨年度から学校名の前に「小中一貫校」がつき、小学校と教育課程や行事、学校の研究会等の内容を互いに周知しあい、9年間で若草地区の子どもたちの成長を願い、学校教育に生かしています。

今年度の本校の推進協議会のメンバーは

○有識者（前若草中学校長）：河西 美代司 様

○地域関係者（前藤田区長）：小野 寿之 様

○学校関係者（本校PTA会長）志村 真由美 様

にお願ひし、本校の校長、教頭もオブザーバーとして参加しました。これからの若草中学校区の児童生徒の成長のため、ご協力をお願いします。